

ZEPHYROS

ゼフェロス No.11

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



ジャン・クルーエ《若い女性の肖像》1520—25年頃

© Trustees of the British Museum, London

大英博物館所蔵フランス素描展

フォンテーヌブローからヴェルサイユへ

会期: 2002年7月9日(火)～9月1日(日)

主催: 国立西洋美術館／東京新聞／西洋美術振興財団

知る人ぞ知る版画素描芸術の世界的なコレクション、大英博物館の版画素描部から、101点の素描をお借りして開催する展覧会です。同館からは6年前、やはり100点ほどのイタリア素描を拝借して展覧会を開いており、今回はその姉妹展といえますか、前回の協力関係の流れを受けて「また一緒にやろうね」というわけで実現した展覧会です。ただ同じところから借りたというだけでなく、美術史の流れの上でもふたつの展覧会の内容には連続性があります。イタリアの16世紀に、素描(デッサン)というものがある

大英博物館所蔵フランス素描展

the national museum of western art, tokyo

非常に大切な芸術表現の手段であるという認識が確立されて、この考えはイタリアの新しい様式とともにフランスにも伝えられました。こうして、その後フランスがイタリアをもしのぐヨーロッパ美術の中心になっていくための、基礎が形作られたわけです。

今回の展覧会は16世紀から18世紀までの作品を対象としています。実をいいますと、大英博物館にとってフランスの素描は必ずしも「得意分野」ではありません。イタリア素描に比べてコレクションの規模は小さめであり、この分野の専門家もスタッフのなかにはいないことから、これまで大英博物館自体でもこの分野の全体像を紹介する展覧会は開かれてきませんでした。その意味では、今回の展覧会は同館のフランス近世素描コレクションを概観する、初めての機会とっていいかもしれません。得意分野でないとはいっても、プッサン、ブーシェ、フラゴナールをはじめ重要な作家たちはすべてカバーされていますし、とりわけクロード・ロランとヴァトーの多数の収蔵品は世界的にも有名で、今回も彼らの作品は複数出品されています。

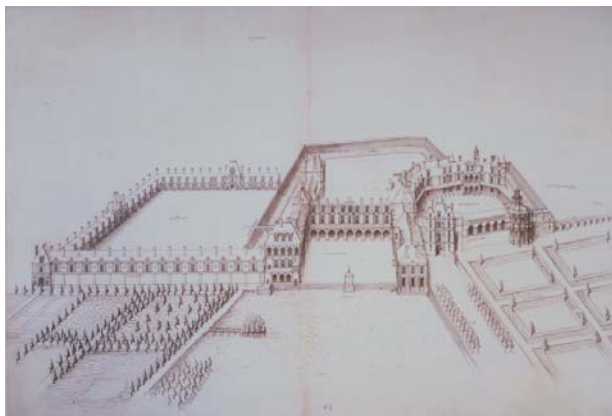
もうひとつ今回の展覧会の特徴をあげますと、16世紀の作品が20点出品されていることです。この時代は、イタリアの重要な画家たちがフランスに移住してフォンテーヌブロー派と呼ばれる実に面白い芸術家グループを形成した時期でした。フランス近世の素描は日本でも過去何度か鑑賞の機会がありましたが、16世紀の素描がまとまった数展示されるのは今回が初めてのことと思われます。そういうわけで、ここには3点とも16世紀の作品の図版を掲載しました。クルーエは有名な《フランソワ1世の肖像》(ルーヴル美術館)をてがけた当代随一の肖像画家、プリマティッチョは1532年にフランスに移住してフォンテーヌブロー派の中心となったイタリア画家です。デュ・セルソーの作品は、同派の活動の中心だったパリ近郊の宮殿を実に繊細な描線で描いています。

素描作品は常時展示されることはなく、これらの出品作は、かりにロンドンまで行ってもまず見ることはできません。どうかこの機会にお楽しみいただければと思います。

(客員研究員 越川倫明)



フランチェスコ・プリマティッチョ
《三美神によって天上に運ばれる
ミネルヴァ》
(フォンテーヌブロー宮殿「オデュッセウスのギャラリー」天井画のための習作) 1540年代後期



ジャック・アンドルーエ・デュ・セルソー
《フォンテーヌブロー宮殿》 1570年代

手と心ーモネ、ドニ、ロダン

会期： 2002年6月18日(火)～9月1日(日)

the national museum of western art, tokyo

本プログラムは、国立西洋美術館の所蔵作品を中心に、毎回特定の視点を切り口として、美術作品を觀賞し、美術をより身近なものとして理解し、楽しんでもらうことを目的としています。昨年は、水の表現をテーマに小展覧会を開催しましたが、今年は、常設展示をそのまま利用します。今回は、アーティストが使用した技法や独自の表現と作家の考えや目指したものとの関係を考えながら觀賞するものです。

当館の常設展示作品の中から、モネ、ドニ、ロダンの3人の作家をとりあげます。モネの大胆なタッチや明るい色彩、ドニの平坦なタッチと独特な配色、ロダンの力強いモデリングと劇的な表現。それぞれの作品に見られる独自の表現や技法に注目して、それらとモネ、ドニ、ロダンの心にあった考えや目指そうとしたものとの関係について考えてみましょう。プログラム期間中は、子どもから大人までを対象に、今回のテーマに関連する様々なプログラムを実施します。詳細は本プログラムのチラシをご覧ください。

(主任研究官 寺島洋子)



クロード・モネ《睡蓮》1916年 松方コレクション



モーリス・ドニ
《シエナの聖カテリーナ》
1921年 松方コレクション



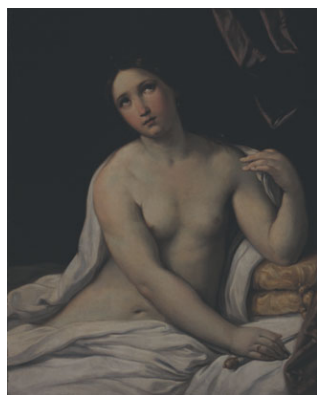
オーギュスト・ロダン
《フギット・アモール(去りゆく愛)》
1887年以前 松方コレクション

2001年度新収作品

ガイド・レーニは17世紀イタリア・バロック期のポローニャ派を代表する画家です。彼は、初めデニス・カルヴァールトのもとで絵を学び、その後カラッチー族のアカデミーで研鑽を積みました。そこで、古代の作品とラファエッロを深く研究したといわれます。そして、ローマでの研究の後、古典主義の様式を色濃く見せるようになります。この《ルクレティア》は、ガイド・レーニが60歳を過ぎた頃の作品と考えられます。輪郭が明快で、色彩の鮮やかな初期の様式から、色調を生かした晩年の様式へと移行する時期の作品です。

ここに描かれている女性は、古代ローマ史の中でも最も有名な女性といえるルクレティアです。王政ローマの末期、王の息子によって辱めを受け、自分の身の潔白を証すために、彼女は自ら剣で命を絶ったのでした。彼女のこうした行為をきっかけとして、共和政ローマの時代を迎えることとなります。この作品は、剣で自分の胸元を突き刺すといった緊迫した悲劇的な場面ではなく、彼女の覚悟の思いを父と夫たちに語りかける場面を表しています。

静謐とした空気の中に、独特の抒情を湛えています。美しい女性たちを得意としたガイド・レーニの特徴がよく示されている作品です。



ガイド・レーニ (1575-1642)
《ルクレティア》

1636-38年頃 油彩、カンヴァス
101.5×82cm

18世紀のフランスは、女性たちが社会の前面で活躍し始めた、いわば「女性の時代」でした。

美術においてもそれは例外ではなく、18世紀の末にはエリザベト・ヴィジェールブラン、アデアライド・ラビーユ＝ギアールという二人の傑出した画家が女性として初めて王立絵画・彫刻アカデミーの会員となったのを皮切りに、女性芸術家が相次いで社会に進出しました。パリでラビーユ＝ギアールのアトリエで学んだカペは、こうした当時の新進女性作家のひとりでした。フランス大革命直後の1791年のサロンでは、出品した21人の女性画家の中に名を連ねています。

ホルダーにはさんだデッサン用のチョークを片手に画架の前に立つこの自画像には、澁刺とした22歳の若い作者の面影が見事に捉えられています。胸元の大胆に開いた青いサテンのドレスは当時の流行の衣装で、共地の青いリボンと相まって18世紀の華やぎを伝えています。しかし、そうしたロココ風の官能性と共に、画面には簡素で直截な表現がみとめられ、新しい時代の方向性をさし示しています。



マリー＝ガブリエル・カペ
(1761-1818)

《自画像》

1783年頃 油彩、カンヴァス
77.5×59.5cm

「大英博物館所蔵フランス素描展」に関連して下記のプログラムを実施します。ご参加ください。

◆記念講演会

●7月27日（土）14：00～15：30（7月13日締切）

「フランス近世絵画と素描（仮題）」

栗田秀法（愛知県美術館学芸員）

●8月10日（土）14：00～15：30（7月27日締切）

「イタリアからフランスへ：フォンテーヌブロー派の美術（仮題）」

越川倫明（東京芸術大学助教授）

場所：講堂

定員：145名（聴講無料。ただし展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。）

◆コンサート

●8月30日（金）17：00～19：00（8月16日締切）

「ルイ14世と15世治下の宮廷音楽」

17、18世紀のフランス宮廷では音楽が盛んで、その音楽はダンスと密接に関係していました。ルイ14世がダンス好きであったことはつとに有名です。今回の展覧会ではヴァトーによるギター奏者の素描やペランによる舞台デザインも出品されていますが、それらからは当時の様子をつぶさに知ることができます。"フランス・バロック音楽とダンス"の魅力を探るプログラムです。

企画・進行：瀧井敬子（東京芸術大学演奏芸術センター）

演奏：竹内太郎（バロック・ギター）、東京芸術大学学生有志

バレエ：市瀬陽子（バロック・ダンス）

場所：企画展示館ロビー

定員：100名（無料。ただし展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。）

記念講演会・コンサート応募方法

往復はがきに、希望日、氏名（1名限り）、住所（返信にも）、電話番号をご記入の上、下記の宛先にお申し込みください（締切日の消印有効）。応募者多数の場合は抽選になります。

宛先：〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

国立西洋美術館「フランス素描展」講演会係

もしくは、国立西洋美術館「フランス素描展」コンサート係

●先生のための観賞プログラム

小・中・高等学校の先生方を対象とした特別展の観賞プログラムです。展覧会の趣旨や作品について40分ほど説明した後、自由に展覧会をご覧ください。プログラムは無料で2回とも内容は同じです。下記の宛先までお申し込みください（締切日の消印有効）。応募者多数の場合は抽選になります。

●8月2日（金）17：30～（17：00 受付開始）（7月14日締切）

●8月3日（土）14：00～（13：30 受付開始）（7月14日締切）

場所：講堂

定員：145名

応募方法：往復はがきに、氏名（1名限り）、住所（返信にも）、所属学校名、担当教科、参加希望日をご記入の上、下記の宛先にご応募ください。

宛先：〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

国立西洋美術館「先生のための観賞プログラム」係

展示カレンダー [企画展示 / 常設展示] 2002年5月～10月

常設展示 (本館・新館)


中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、ロダンの彫刻、そして19世紀半ばから20世紀初頭にかけてのモネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と第二次大戦後の絵画を展示しています。

休館日

5 MAY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31


プラド美術館展



平成11年～13年度新収版画作品展
(新館2F 版画素描室) 最終日 5月26日(日)

6 JUNE

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30




プラド美術館展
最終日6月16日(日)

手と心ーモネ、ドニ、ロダン
(本館1F および新館) 6月18日(火)～9月1日(日)

7 JULY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

大英博物館所蔵フランス素描展
(企画展示室) 7月9日(火)～9月1日(日)




手と心ーモネ、ドニ、ロダン

8 AUGUST

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

大英博物館所蔵フランス素描展 最終日9月1日(日)

手と心ーモネ、ドニ、ロダン 最終日9月1日(日)



9 SEPT.

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

臨時休館 (館内整備)
9月9日(月)
9月13日(金)

ウインスロップ・コレクション
(企画展示室) 9月14日(土)～12月8日(日)

10 OCTOBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

ウインスロップ・コレクション (企画展示室) 9月14日(土)～12月8日(日)

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…9:30～17:00、金曜日～20:00 (入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)年末年始(12月28日～翌年1月4日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日と文化の日
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第11号

印刷発行日 平成14年5月13日
(年4回発行)

発行者 国立西洋美術館
協力 (財) 西洋美術振興財団

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています